

(6) 市立図書館における子ども読書活動の推進

子どもと保護者への取組みの充実

NO.	事業名	取組みの内容	区分	状況	指標	平成24年度(2012年度)実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
121	「図書館へようこそ」の周知	だれもが使ってみようと思う、そして使いやすい図書館をめざして、「図書館へようこそ」(バリアフリー宣言)を周知するとともに、ハード、ソフトの両面について、図書館利用の障害を除くよう取り組む。 [105にも掲載しています。]	継続	○			項目No.105と同じ	読書振興課・図書館
122	読書相談とレファレンスサービスの充実	子どもが読みたい本や知りたいことを見つけられるよう取組みを充実する。	継続	○			岡町図書館では人気のある資料を子どもが自分で探しやすいよう、閲覧テーブルの上の小さい書架や段ボール製の表紙見せ架に置くなどの工夫をした。東豊中図書館では読書相談が特に増える夏休み期間に話題になった児童書読み物の展示を行った。	読書振興課・図書館
123	豊中版ブックスタート事業「えほんはじめまして」→23年8月よりブックスタート事業「えほんはじめまして」	赤ちゃんにとって親子のふれあいや温かい語りかけが大切なこと、赤ちゃんと一緒に絵本を読み合う楽しさを伝える事業。図書館が子育て支援の場であることや利用の方法についても伝える。引き続き4か月児健診時、市内3か所の会場で行う。家庭でもすぐに楽しめるよう絵本を1冊配布するほか、絵本のリストや図書館の案内、子ども文庫のしおり等をコットンバッグに入れて配布する。また健診未受診者へ保健師が絵本もしくは引換券と「えほんはじめまして」の資料を配布する等、状況に応じて働きかけを行う。 [20にも掲載しています。]	継続	○	ブックスタートバック手渡し率	97.0%	項目No.20と同じ	読書振興課・図書館 保健予防課 子育て支援センター 豊子連
124	乳幼児向けおはなし会	「えほんはじめまして」の取組みをフォローするものとして、乳幼児と保護者が楽しみながら、わらべうたや絵本にふれる機会をつくる。	継続	○	回数／参加人数	406回 ／ 6,557人	図書館全9館で乳幼児から参加できるおはなし会を実施している。4か月児健診直後のおはなし会の参加人数が多くなる傾向にあり、「えほんはじめまして」の取組みを日常的にフォローしている。おはなし会終了後に集會室を開放している館もあり、参加者同士で語り合うなど、親子の交流の場としても機能している。蛍池図書館の「すくすくおはなしタイム」は保育士の協力を得てわらべうたやふれあい遊びのプログラムもあり、終了後子育てについての相談も行っている。	読書振興課・図書館

NO.	事業名	取組みの内容	区分	状況	指標	平成24年度(2012年度)実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
125	おはなし会	子どもが絵本やおはなしの楽しさを知ることができるよう、図書館でおはなし会を定期的に行う。	継続	○	回数	906回	定期的なおはなし会のほか、春・夏・冬休みや土日におはなし会を実施した館もあり、平日には参加できない子どもや、父親の参加も見られた。ボランティアとの共催で実施しているおはなし会も多い。ストーリーテリングをプログラムに入れたおはなし会を実施した館もあり、小学生や普段とは違う参加者の来館につながった。ストーリーテリングを楽しみにする常連参加者も多く、恒例行事として定着しつつある。保育所や幼稚園の子どもたちがお散歩で来館したときに合わせておはなし会を実施している館もある。	○読書振興課・図書館 おはなしボランティアグループ
126	「えほんはじめまして」フォロー事業	経験豊かな講師による読み聞かせやわらべうた遊びを通じて親子のふれあいや読書の楽しさや大切さを感じてもらう行事「えほんにたっち」や、保健予防課と連携し司書による読み聞かせやわらべうた遊びと保健師による子育てに関する話を組み合わせた行事「すくすく赤ちゃんタイム」などをいずれも図書館で実施。 〔妊婦教室についてはp.29「追加」をご参照ください。〕	継続	○	回数／参加人数	41回／999人	乳幼児向けおはなし会の場に保健師さんに来てもらう「すくすく赤ちゃんタイム」のほか、24年度からはおはなし会に合わせて歯科衛生士さんに来てもらう「食育コラボ～みんなでは・は・は」(*注)も実施した。講師を招いて行う講座「えほんにたっち」も毎年好評で定着している。蛍池図書館では絵本の紹介とともに地域の保育士を講師に招き、遊びを通して親子のふれあいや時間を共有する「すくすくおはなしタイム」を実施した。服部図書館では月に一回絵本を通したコミュニケーションの場として赤ちゃん専用スペースをもうけ、職員が手遊びや本の紹介をしている。庄内図書館では保健センターが実施している妊婦教室で図書館の案内や赤ちゃん向け絵本の紹介をした。 (*注)「食育コラボ～みんなでは・は・は」は「豊中市食育推進計画」に基づき、関係部署が連携し合って食育の推進を図る様々な取組みを行っている。図書館と歯科衛生士が連携した「食育コラボ～みんなでは・は・は」もそのうちの一つである。24年度は乳幼児とその親子対象であったが、食育推進計画の対象としては成人もその範囲に入る。	読書振興課・図書館
127	絵本講座の開催	子育て支援の講座のなかで、親子と一緒に楽しみながら読書の大切さを感じる取組みを、関係機関・団体と連携して行う。 〔6、99をご参照ください。〕	継続	○	回数／参加人数	42回／1,420人	社会福祉協議会では各校区で実施している子育てサロンにおいて、図書館職員、おはなしボランティアグループ、子育てサロンスタッフ等によりおはなし会や絵本講座を実施し、講座やおはなし会の時に絵本の貸出を行っている。おもに近隣の図書館のことも担当者が出向き読み聞かせなどを行い、地域の中で本と親しむ機会となっている。社協としては乳幼児向けの絵本の選び方やおはなし会の回数を増やしたい。(社会福祉協議会) 子育て支援センターや社会福祉協議会を通じ、多くの子育てサロン・サークルから出前講座の依頼があった。岡町図書館では公民館と連携しての絵本講座も行った。地域の子育て支援センターでの、乳幼児や就学前の子どもを対象にした絵本講座も定着している。(図書館)	○読書振興課・図書館 社会福祉協議会 関係機関・団体
<p>・おうた遊びが良かったです。どんな絵本を選んだらいいのかわからなかったのが、参考になりました。</p> <p>・明るいBGMもあって、親がゆっくりできました。子どもは走りまわるけれど、本にふれられて家とは違う環境で本読みできてうれしいです。</p> <p>・まだ早いかと、思って本の読み聞かせには参加したことがなかったのですが、所々で笑っていたので楽しかったようです。</p> <p>・工作をしたり、体を動かしたり、とても楽しかったです。久しぶりに気分転換ができました。</p> <p>・たくさんのお子さんと ふれあうことができ、初めは固まっていた息子も後半は遊んでいました。また参加したいと思います。(「すくすくおはなしタイム」参加者のアンケートより)</p>								

NO.	事業名	取組みの内容	区分	状況	指標	平成24年度(2012年度)実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
128	情報検索の講習会	子どもを対象に図書館ウェブサイトを利用して情報検索の講習会を行う。また必要に応じてパスファインダー(情報検索のリーフレット)を作成し、活用する。	継続	○	回数	3回 (2館)	庄内図書館と野畑図書館では、小学校で図書館のウェブサイトを活用した資料検索のインターネット学習を行った。	読書振興課・図書館
129	「子どもと本のまつり」 「子どもと本のつどい」	子どもが絵本の読み聞かせやおはなし、手づくり遊びなどを楽しむ「子どもと本のまつり」や、子どもや子どもの本・読書に関わっている講師を招いての講演会や子ども向けのワークショップなどを行う「子どもと本のつどい」を豊子連と共催。 [13をご参照ください。]	継続	○	回数／参加人数	3回／ 227人	31回目となる「子どもと本のまつり」は、例年、各コーナー盛況で、24年度は子ども大人合わせて177人の参加があった。多言語のおはなし会はタイ語と中国語でおはなしを楽しんだ。「子どもと本のつどい」パート1は世界のバリアフリー絵本展と「つながろう、えほん・こども・おとな」のテーマでの児童発達支援センターの元保育士による講演会。パート2では写真絵本作家の星川ひろ子さんに来ていただき、ワークショップ「しゃしんであそぼ」を開催した。	読書振興課・図書館 豊子連
<p>・多言語のおはなしは、子どもがとても喜んで聞いていました。またお願いしたいです。</p> <p>・いつもの図書館のおはなし会では見なかった本が多かった。もっと読んでほしかった。</p> <p>・絵本が人と人をつなぐ、気持ちを通わせることの大切さを感じました。丁寧に読むことを思い出しました。(「子どもと本のまつり」参加者アンケートより)</p> <p>・白黒の写真を使って色をぬることで、ずい分印象がかわることにおどろきました。子どもたちの感性がすばらしかったです。(子どもと本のつどい2 参加者アンケートより)</p>								
130	子ども対象の催し	折り紙や手作り工作をはじめとした地域子ども教室など、子ども向けに行っている行事を充実し、伝承あそびや昔語りの場を提供するとともに、子どもと本をつなぐ機会とする。	継続	○	回数／参加人数	45回／ 1,056人	岡町図書館で実施している地域こども教室は、毎月楽しみにしている親子も多く、図書館に来るきっかけとなっている。東豊中図書館では「おもちゃ教室 つくってあそぼう」を実施した。千里図書館では大学生・社会人ボランティアとともに「ふゆのおたのしみ会」(おはなし会、工作等)を実施した。蛭池図書館では「ぬいぐるみのおとまり会」を開き、自分のぬいぐるみが図書館に一晩泊まるという行事を通して、図書館に親しみを持ってもらった。そのほか、こども教室「写真を使った絵本づくりに挑戦」、「おりがみ教室」蛭池人權まちづくりセンター・公民館と共催の「電車がつなぐ人とまち」、「ハンドベル演奏・体験とパネルシアター」を実施した。服部図書館では夏休みにお絵描きとおはなし会を組み合わせた「オハナシ国発エカキ国行き」、冬定例の「ハンドベルコンサート」を実施した。野畑図書館では、地域子ども教室の行事として、夏休みに「なつやすみてづくりあそびスペシャル」、冬休みに「つくってあげよう！ たこあげ大会」を開催した。地域ボランティアの大人から作り方を教えてもらい、子どもと図書館をつなぐだけでなく、地域の大人とも関わり合いを持てる機会となっている。高川図書館で実施している地域こども教室では、夏休みを中心に、手作り工作を行った。	読書振興課・図書館

NO.	事業名	取組みの内容	区分	状況	指標	平成24年度(2012年度)実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
131	「おはなし会がやってきた！」	子ども文庫やおはなしグループに依頼し、日頃図書館を利用しにくい子どもたちに出前のおはなし会を行う。 [55をご参照ください。97にも掲載しています。]	継続	○	参加回数 人数	3施設 で7回 /342 人	項目No.97と同じ	読書振興課・図書館 子ども文庫 おはなしグループ
132	保育所(園)・幼稚園訪問	保育所(園)、幼稚園に出かけて、図書館の使い方の説明やおはなし会を行い絵本やおはなしの楽しさを伝える。 [57にも掲載しています。]	継続	○	実施所(園)数	7園	項目No.57と同じ	○読書振興課・図書館 保育所(園) 幼稚園
133	「ようこそ図書館へ」	主に小学校3年生を対象として、小学校へ図書館見学を呼びかけて実施する。	継続	○	実施校数	45校	子どもたちが地域の図書館に来て、より図書館を身近に感じてもらうことで、来館につながる大切な機会となっているため、今後も継続して行う必要がある。	○読書振興課・図書館 小学校
134	講座の開催	保護者や子どものまわりにいる大人に、子どもの読書の楽しさや大切さを伝える講座を行う。	継続	○	参加回数 人数	2回 /54人	「私立幼稚園教諭・民間保育所(園)保育士向け絵本講座」を実施した。	読書振興課・図書館

子どもの本や読書に関する情報提供

◆〈実施計画の取組み〉(8ページ)をご参照ください。

NO.	事業名	取組み内容	区分	状況	指標	平成24年度(2012年度)実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
135	ブックリスト	本の紹介リストを作成する。	継続	○			赤ちゃん向け絵本の紹介冊子(「えほんはじめまして」で配布)を一部改訂した。1歳から2歳くらいまでを対象とした絵本の紹介リーフレットは24年度より1歳6か月児健診で配布している。	読書振興課・図書館
136	ウェブサイトの充実	図書館の子ども向けウェブサイトをもっと使いやすいものにする。	継続	○			図書館の子ども向けウェブサイトのトップ画面と「ある日の図書館」のページを、定期的に更新している。いろんな図書館の様子を紹介し、子どもたちにも身近に感じてもらえるページを目指している。子ども対象の行事案内のほか、行事終了後は写真やおはなし会のプログラムを載せるなど、日々更新を行っている。	読書振興課・図書館
137	家庭への情報提供	図書館のウェブサイトやメールマガジン、ケーブルテレビなど多様なメディアで本の紹介などを行う。 [5、106にも掲載しています。]	継続	○			項目No.5、106と同じ	読書振興課・図書館

NO.	事業名	取組み内容	区分	状況	指標	平成24年度(2012年度)実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
138	新1年生へのPR	小学校新1年生を対象に作成した利用案内を小学校を通じて新1年生に配布し、家庭に向けて図書館のPRを行う。 [4にも掲載しています。]	継続	○	配布枚数	3,670枚	項目No.4と同じ	読書振興課・図書館
139	中学・高校生へのPR	市内の中学校、高校に利用案内やポスターを配布する。また千里図書館が作成している「YA! BOOKS通信」など情報誌によるPRも実施する。	継続	○	配布枚数	11,800部	中学校へのPRは、夏休み前の学校図書館便りに図書館の利用案内を載せてもらうなど、学校司書と連携しながら行っている。千里図書館では、情報誌「YA! BOOKS通信」を発行、市内中学・高校に配布し近隣商店等にも設置した。24年度からは図書館ウェブサイトでも公開している。近隣高校の文化祭でブースを設置、図書館のPRを行った。東豊中図書館では「東豊中図書館YA! BOOKS」を発行し、近隣小学・中学・高校に配布した。近隣高校の文化祭でも配布した。岡町図書館では豊中高校で出前講座を実施し、授業の中でYA! BOOKS通信を紹介した。また、家庭科室に常設した図書コーナーに高校生向け情報誌を設置した。	読書振興課・図書館

読書環境の整備

NO.	事業名	取組み内容	区分	状況	指標	平成24年度(2012年度)実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
140	市立図書館の資料の充実	図書館が子どもや子どもの本に関する情報を収集して資料を選書し、児童書の蔵書をさらに充実したものとする。	継続	○	児童書冊数受け	12,585冊	今年度は「住民生活に光をそそぐ交付金」を用いて、調べ学習資料として図鑑セットを購入した(192冊)。	読書振興課・図書館
141	はじめてであう絵本のコーナー	子どもがはじめて出会う絵本を集めたコーナーを設置する。	継続	○	コーナー設置数	全9館	すべての図書館に「はじめてであう絵本」コーナーを設けている。コーナーでは絵本の他に地域の情報や子育て情報(サロン、サークルのマップなど)の提供を行い、赤ちゃんと楽しむ絵本の紹介冊子を設置し絵本選びの参考に活用していただいている。動く図書館や図書室では赤ちゃん向け絵本をまとめて置き、乳幼児の保護者が手に取りやすいようにしている。	読書振興課・図書館
142	子育て支援	子どもの本とともに子育てに関する資料や情報を提供し、図書館が子育て支援の場のひとつとなるよう環境整備を行う。	継続	○			図書館では「はじめてであう絵本」コーナーに子育て支援センターや社会福祉協議会の発行するリーフレットを置き、地域の子育て情報提供に努めた。こども室に子育てに関する本を置いている館や、成人書の育児書のコーナーにも、赤ちゃん向けの絵本リストを置く館もある。また授乳スペースを提供するなど、全館で子育て支援につとめている。	読書振興課・図書館
143	YA向けの資料の充実	YA(10代のヤングアダルト世代)向けの本のコーナーを設置する。	継続	○			千里・東豊中・高川・岡町・庄内図書館でYAコーナーを設置している。東豊中図書館では「東豊中図書館YA! BOOKS」を発行し近隣学校へ配布のほか、YAコーナーにも置いた。千里図書館ではYA! BOOKSコーナーを展開し、YA世代の読書環境や情報環境整備に努めている。「YA! BOOKS通信」の発行や「高校情報ファイル」の設置により情報を収集・発信している。岡町図書館では24年度にYAコーナーを拡充し、資料の充実と机・椅子の設置を行った。	読書振興課・図書館

NO.	事業名	取組み内容	区分	状況	指標	平成24年度(2012年度)実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
144	資料の充実	図書館が児童発達支援センターや支援学校の教職員とともに、施設で活用される資料の情報交換を行い、障害のある子どもにとって有効な資料を研究し、選書の際の参考にする。 [110にも掲載しています。]	継続	○	施設数	4か所	項目No.110と同じ	○読書振興課・図書館 児童発達支援センター 支援学校
145	外国語資料の充実	関係団体と連携・協力し、外国人市民の意見やニーズを把握しながら、外国語資料を購入や寄贈本を受け入れることによって蔵書を充実する。また岡町図書館の「世界のこどもの本の部屋」をより利用しやすいものにする。 [108にも掲載しています。]	継続	○	購入冊数／蔵書冊数	277冊 ／ 10,846冊	項目No.108と同じ	読書振興課・図書館
146	外国語資料の検索システムの整備	英語以外の外国語資料について、蔵書検索ができるように研究を行う。 [111をご参照ください]	継続	○			23年受入の資料については、すべての言語の資料の書誌データを作成し登録した。文字入力ができない言語については、日本語で簡易書誌を作成した。他市事例の研究として、大阪市立図書館に見学に行き、資料や検索システムについて伺った。外国語資料の受入業務を担当するメンバーでの会議を実施した。	読書振興課・図書館
147	動く図書館の巡回	動く図書館が通園施設や支援学校、保育所を巡回して、子どもや教職員が直接選んだ資料を貸出する。 [109をご参照ください。]	継続	○	巡回貸出冊数／施設数	10か所/ 18,191冊	約4週間に1回、各施設を巡回して貸出を実施。子どもが直接本を選ぶとともに、教職員の保育用資料や保護者向けの資料も貸出している。巡回が定着しており、貸出冊数は数としては僅かに減少しているが、工事のため6ヶ月館巡回できなかった施設があることを考慮すると、1巡回あたりの貸出冊数は増加しているといえる。 個別の要望については巡回時に聞き取りを行っている。前年度は児童発達支援施設2か所で聞き取り調査を実施したが、今年度は実施できなかった。来年度の課題としたい。	読書振興課・図書館
148	団体貸出	子ども文庫、保育所(園)や幼稚園、人権まちづくりセンターなどへ団体貸出を行う。 [12、43、63、109をご参照ください。]	継続	○	団体貸出冊数	49,753冊	子ども文庫や学校、放課後子どもクラブ、保育所(園)、幼稚園及び自主的な活動グループで10人以上の利用者を有する団体に資料の団体貸出を行っている。貸出期間や冊数は利用団体の種別ごとに定められており、図書館では選書の補助や、必要に応じて配本などを実施している。	読書振興課・図書館

NO.	事業名	取組み内容	区分	状況	指標	平成24年度(2012年度)実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
149	放課後子どもクラブへの貸出しと配本およびおはなし会の実施	放課後子どもクラブへ絵本や紙芝居などを選書し、定期的に貸出・配本する。平成24年3月現在41カ所を実施。またおはなしボランティアや図書館職員によるおはなし会を実施する。 〔43をご参照ください。〕	継続	○	配本校数／貸出冊数	41校／13,236冊	市内の小学校全41校に、絵本やよみもの、紙芝居などを100冊程度1セットにして貸出している。およそ4か月に1度入れ替えを行う。普段は児童や指導員がいない午前中に本の入れ替えを行っているが、長期休業中は児童が放課後子どもクラブに来ているので、子どもたちの様子を見たり、どんな本が好きか等を聞くなどして選書の参考にすることができた。今後も放課後子どもクラブチームと連携し、子どもたちが楽しい時間を過ごせるような選書を行っていく。おはなしボランティアポケットによる放課後子どもクラブでのおはなし会は、33校で実施されており子どもたちに好評である。今後はおはなし会で読んだ本を当日置いて帰り、子どもたちが自由に見ることができるよう検討していきたい。	○読書振興課・図書館 放課後子どもクラブチーム おはなしボランティアポケット 野畑おはなしの会
150	学校図書館との連携・支援	市立図書館職員と学校司書が日常的に子どもや子どもの本に関する情報を共有する。その中で学校図書館への団体貸出や調べもの、リクエストなどの支援を充実する。また市立図書館の行事においても両者が連携し、内容の充実を図る。	継続	○			学校図書館専任職員(以下、学校司書)から調べ学習の内容について情報提供があり、テーマにそった本を一括的に集めるなど、日常的に情報共有を行っている。夏休み前には、市立図書館の子ども向け行事の案内を学校図書館へ送付し、学校司書から直接子どもに案内することで、子どもの参加にもつながっている。各図書館では、担当エリアの小中学校の学校図書館便りを事務用としてファイルしており、市立図書館職員が近隣の学校図書館の近況を知ることができる。学校図書館を紹介するポスターや、子どもたちの作品(おすすめ本POP・調べ学習の新聞等)を市立図書館で展示した。(学校図書館紹介3館・作品展4館)スタンプラリーや自由研究おたすけdayなど学校図書館と連携しての取組みを行った館もある。	○読書振興課・図書館 教育推進室 小中学校チーム 小・中学校
<p>*ブックプラネット事業:豊中市の「読書活動日本一」を目的に「教育行政方針」のひとつに位置づけられている事業。学校図書館の「読書センター」及び「学習・情報センター」機能向上をめざし、多様な読書活動の取組みを一層普及・定着させるとともに、言語活動の充実や授業改善など教育活動の充実を図る。 ブックプラネット事業詳細設計にもとづき「読書活動支援システム」の開発と構築を進めるとともに、操作研修や物流便(資料運搬システム)の増便等、本格稼働に向けての体制作りを行った(85、86参照)。合わせて、「学校図書館支援ライブラリー」(庄内幸町図書館2階)を拠点としながら、公共図書館でセット組みをした各種資料「調べ学習パック」や「教員支援用資料」の学校図書館への貸出しを開始した。 また、読書活動活性化に向けた啓発事業として、「好きな作家に手紙を書こう」(市内全小・中学校から募集)、知的探求合戦「めざせ!図書館の達人」(12月25日図書館休館日、会場:岡町図書館・千里図書館)、「子ども読書活動フォーラム」(2月16日、会場:ローズ文化ホール)を実施した。</p>								

子ども読書活動におけるネットワークづくりと情報交流の推進

NO.	事業名	取組み内容	区分	状況	指標	平成24年度(2012年度)実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
151	地域館交流会	学校・市立図書館間で資料活用状況等に関する交流(情報交換や研修)の場を設ける。 〔87にも掲載しています。〕	拡大	○	会合の回数	2回	項目No.87と同じ	読書振興課・図書館 教育推進室 小中学校チーム
152	小児科などの医院との連携	地域の小児科などの医院と、子どもと子どもの読書に関する情報交流を行う。 〔1にも掲載しています〕	継続	□	配布枚数		項目No.1と同じ	読書振興課・図書館

子ども読書活動ボランティアや市民活動団体への支援の充実

NO.	事業名	取組み内容	区分	状況	指標	平成24年度(2012年度)実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
153	おはなしボランティア活動への支援	地域や図書館、学校で活動するボランティアに対して図書資料や場所、活動に必要な情報を提供し、講座の開催など学習の機会を保障する。 [14にも掲載しています。89をご参照ください。]	継続	○	貸出冊数／講座の回数／参加人数	16,925冊／8回／285人	項目No.14と同じ	読書振興課・図書館 豊子連・おはなしボランティアポケット
154	紙芝居ボランティア「紙芝居すきやねん」	市立図書館や地域の公共施設が地域のおはなしボランティアと連携し、小学生・中学生・高校生・大学生のおはなしボランティア活動を支援し、活動の場を提供する。 [15、68、88をご参照ください。]	継続	○	回数	11回	高川図書館では高校生・大学生ボランティアによる幼児・小学生向け紙芝居会を実施した。また、ボランティア登録者の募集を兼ねて、今年度も担当地域の学校司書と連携し、ボランティアと図書館職員が中学校に出向き、紙芝居の上演や紙芝居の読み聞かせのアドバイスをを行った。この時練習した紙芝居は、小中連携の一環として、夏休みに中学生が地域の小学校を訪問して読み聞かせを行い好評を得た。	○読書振興課・図書館 おはなしボランティアポケット有志 関係施設

子どもに関わる大人への啓発と研修

NO.	事業名	取組み内容	区分	状況	指標	平成24年度(2012年)実施		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
155	パネル展	子ども読書に関わる市民・関係団体の活動を紹介するパネル展を行う。	継続	○	回数	8回	市内4会場で、ブックスタート写真展が実現した。会場の様子を写真で紹介し、ブックスタート事業についてのパネルも展示した。学校図書館を紹介するパネル展・ポスター展も4館で実施した。	読書振興課・図書館
156	教職員への取組み	教職員向けに図書館見学会や図書館・図書館資料の効果的な活用を提案する。 [91をご参照ください。]	継続	○			夏休みに新任教員の研修を岡町・野畑・千里図書館で受け入れた。	○読書振興課・図書館 小・中学校

図書館

NO.	事業名	取組み内容	区分	状況	指標	平成24年度(2012年)実施		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
157	情報交流と研修	図書館や関係機関等で行う講座や研修の情報を共有し、学習の機会を広げる。 〔72をご参照ください。120にも掲載しています〕	継続	○	回数	4回	項目No.120と同じ	読書振興課・図書館関係施設
158	図書館職員研修	図書館の児童サービスに関する研修を充実する。 〔51をご参照ください。〕	継続	○	回数	23回	大阪府子ども文庫連絡会をはじめとして、児童サービスに関わる必要な研修を実施し、館内の情報システムを活用して、職員間の共有に努めた。	読書振興課・図書館



動く図書館

